

広島県道路整備計画2011の概要と取組成果

計画期間

平成23年度から平成27年度までの5年間

計画の体系

次の4つのテーマと6つの施策の柱のもとに、道路を総合的にマネジメントする計画として策定しました。

4つのテーマ	6つの施策の柱	施策の体系
I ひと・まちを「つなぐ」みち	i 広域交通ネットワークの確立	広域的な交流・連携基盤の構築 グローバルゲートウェイへのアクセス強化 物流機能の強化
	ii 集客・交流機能の強化	観光産業への支援
II 暮らしを「守る」みち	iii 災害に強い道路ネットワークの構築	安全な道路の整備
	iv 安心できる道路空間の形成	安心な道路の整備 豊かな生活環境の創造
III 地域を「支える」みち	v 地域の自立や活力を支える道路の整備	都市を支える道路の整備 中山間地域を支える道路の整備 合併後のまちづくりを支える道路の整備
IV 今あるみちを「活かす」	vi 道路機能の有効活用	既存道路の再生改良 戦略的な維持管理への転換 使えるハイウェイ施策の推進 交通需要マネジメントの導入 道路を通じた地域振興の推進

事業実施箇所の進捗状況

●国直轄事業

計画期間内の完成予定箇所については全て計画どおり完成するとともに、他の箇所についても順調に進捗しています。

計画期間内の完成箇所：中国横断自動車道尾道松江線、東広島・呉自動車道、国道2号三原バイパス、国道2号東広島バイパス(瀬野西IC～中野IC)、国道2号西広島バイパス(廿日市高架)

●県事業

【箇所数】

計画は5年間で484箇所を実施し282箇所を完成と位置付けており、実績は計画期間内に計画を上回る292箇所が完了する予定です。

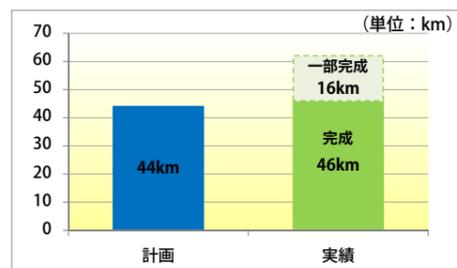
(単位：箇所)

区分		計画 (H23-27)			完了
		完成	継続		
改築系	道路改良	198	80	118	80
	街路	18	6	12	7
	交通安全	89	37	52	42
	小計	305	123	182	129
補修系	橋梁補修	146	144	2	146
	災害防除	33	15	18	17
	小計	179	159	20	163
合計		484	282	202	292

【延長(道路改良・街路)】

計画は5年間で道路改良・街路事業の完成延長を約44kmと見込んでおり、実績は計画を若干上回っています。

また、継続箇所においても計画期間内に約16kmを部分完成します。



施策目標の達成状況

成果目標の16指標については全て達成します。

テーマ	施策の柱	施策目標	～H27目標	結果	主な完成箇所・取組	整備効果等
ひと・まちを「つなぐ」みち	広域交通ネットワークの確立	①広島市2時間交通圏	555万人	達成見込み	中国横断自動車道尾道松江線 東広島・呉自動車道 広島高速3号線 国道2号三原BP・東広島BP一部・西広島BP(廿日市高架) 国道487号警固屋音戸BP (主)矢野安浦線(都)神辺水呑線(都)長江線	〔広域ネットワークの確立〕 ・広島松江高速バス増便28⇒36便(H24⇒26) ・福山・尾道松江高速バス運行開始(H25) ・吉舎～甲奴間休日交通量53⇒105百台(H26⇒27) ・エアポートバス呉広島空港線運行開始(H25)増便14⇒18便(H25⇒27)
		②県内80分交通圏	268万人			
		③高速道路IC20分交通圏	276万人			
		④広島空港2時間交通圏	644万人			
		⑤広島空港40分交通圏	79万人			
暮らしを「守る」みち	災害に強い道路ネットワークの構築	⑧緊急輸送道路の整備済延長(全154km)	30km	国道185号三原大橋(主)福山鞆線	〔集客・交流機能の強化〕 ・尾道市入込観光客数552⇒641万人(H19⇒26) ・広島市中心部～宮島口所要時間41⇒35分(H23⇒24)	
		⑨橋梁耐震補強(落橋・倒壊対策)の完了率※	100%			
地域を「支える」みち	地域の自立や活力を支える道路の整備	⑩二次救急医療15分圏域	265万人	達成見込み	国道375号広(主)尾道三原線 国道375号御園宇BP(主)三次美土里線(主)江田島大柿線	〔集客・交流機能の強化〕 ・尾道市入込観光客数552⇒641万人(H19⇒26) ・広島市中心部～宮島口所要時間41⇒35分(H23⇒24)
		⑪整備の必要な通学路整備済延長(全161km)	36km			
		⑫混雑区間(混雑度1.0以上)の緩和箇所	20箇所			
		⑬主要渋滞ポイントの緩和箇所数	15箇所			
		⑭現況1車線バス路線区間整備済延長(全82km)	9km			
		⑮新市町中心地への30分交通圏	222万人			
今あるみちを「活かす」	道路機能の有効活用	⑯合併建設計画区間の改良済箇所	268箇所	-	-	-
						アセットマネジメントの推進 より利用しやすい有料道路料金体系の導入 ・新たな高速道路料金の導入(H25) ・安芸灘大橋の回数券利用者を対象とした割引拡充(H26) しまなみ海道自転車通行料金の無料化開始(H26)等

※緊急輸送道路上で地震の影響を受けやすい橋梁の耐震補強を対象

用語説明

グローバルゲートウェイ…世界各国と多方面、多頻度の航空路線・航路で結ばれた国際的な規模と機能を有した競争力の高い拠点となる空港・港湾。
交通需要マネジメント…自動車の効率的利用や、公共交通への利用転換、時間や経路の変更などを進めることにより、交通渋滞の緩和を図り、環境の改善や地域の活性化を目指す取組み。

緊急輸送道路…阪神・淡路大震災を教訓とし、地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として、各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』の中で設定された路線で、役割に応じ、1次から3次までが設定されている。
二次救急医療…入院治療を必要とする重症救急患者に対する医療。
主要渋滞ポイント…交通の集中等により渋滞が発生している箇所。平成17年に県内で58箇所が選定されている。
合併建設計画…合併後の市町の基本方針や公共施設の整備などについて定め、将来のビジョンや施策の方向性を示したもの。
アセットマネジメント…公共土木施設を資産(アセット)としてとらえ、将来の施設の状態を予測し、初期建設費用+維持管理費+更新費用(ライフサイクルコスト)が最小となる補修工法と補修時期を選定する総合的な管理・運用(マネジメント)方法。